



三鷹エリア
限定版!!!

深田貴美子 《いっぽいっぽ通信》

平成武蔵野三國志

——本当の市民参加で、いよいよ決着の時!——

不毛な国政の「代理戦争」を乗り越えて、
市民のために市政を取り戻しましょう。

皆さまとともに《新しい武蔵野の扉》を開かせてください

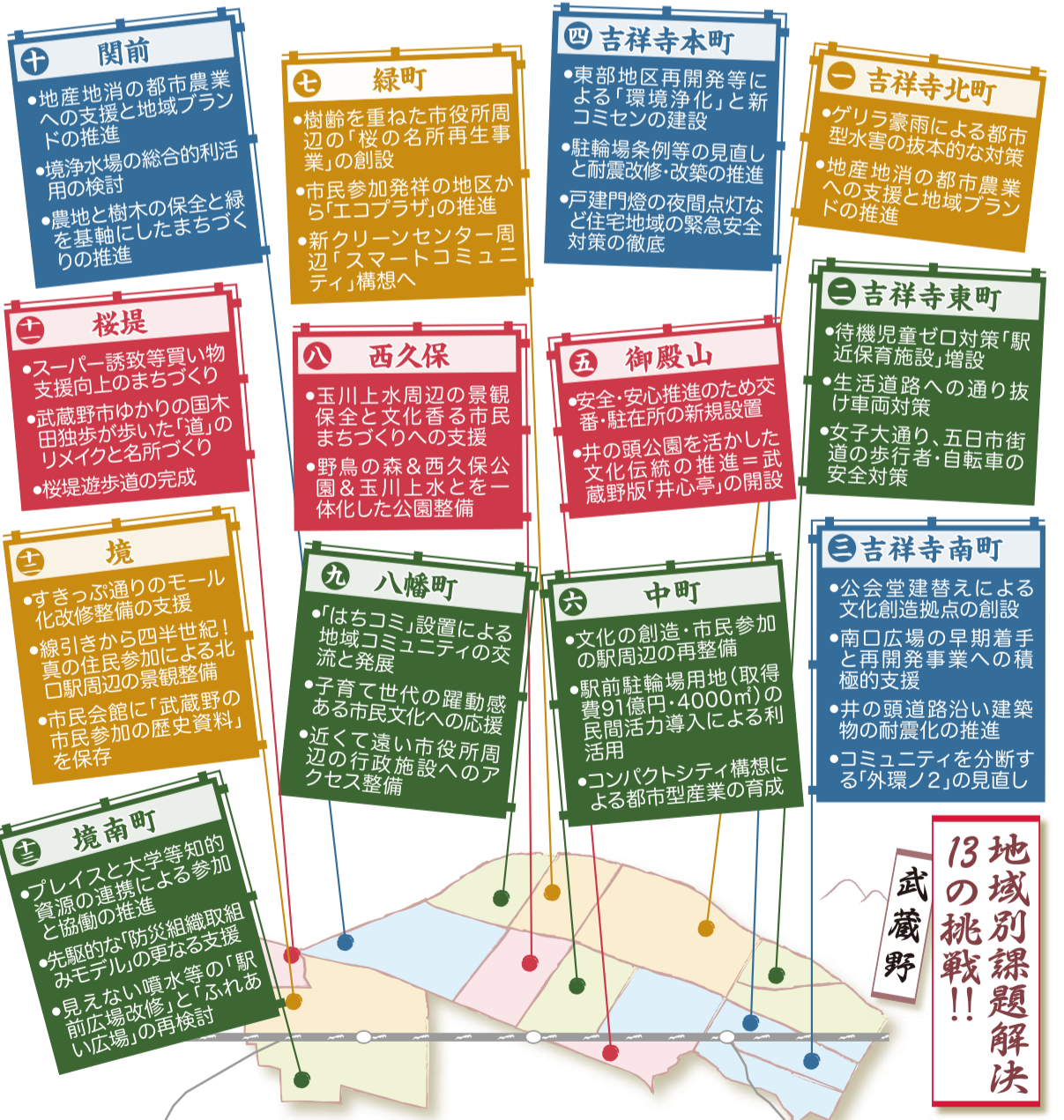
政治は
母・子と
みんなの
ために

もういちど「さすが武蔵野」といわせたい!

深田貴美子 20番勝負!!

将来ビジョンを持って、 「決断」と「実行」!

- 其の壱 災害に耐えられない「上下水道インフラ」整備を先送りしない!
- 其の弐 「財政計画の不備」を正し、長期ビジョンを確立する!
- 其の参 駐輪場条例改正等安全を約束する吉祥寺のまちづくりに着手する!
- 其の肆 「特養」不足と高齢者政策の遅れを挽回する!
- 其の伍 待機児童の増加と保育・学童・障害児政策の不備を挽回する!
- 其の陸 「産学民公」無き産業振興計画を再検討する!
- 其の漆 「本当の市民参加」と「協働」のまちへと根本から立て直す
- 横綱 15の外郭団体の整理統合と財政規律(ムダ遣い)の見直し



〈深田貴美子サポーターズ〉へのお誘い
——みなさまに伏してのお願い!

いつもご声援・ご支援をありがとうございます。皆さまの心温まる応援が、私の勇気と元気と馬力の原動力です。「武蔵野の未来」をみなさまと一緒に創っていきたく。そんな手作り・手弁当で活動を続けています。ご協力いただけます皆さま、ご連絡を心よりお待ちしております。

- ◎看板・ポスター設置 (皆さまの軒先を、ちょっとお貸りできれば……)
 - ◎通信配布 (20部でも30部でも、本当に助けになります!)
 - ◎寄付のお願い (お気持ちをお寄せください!)
- 郵便振替口座:00180-0-578586
「深田貴美子といっぽいっぽの会」

✉ ippo-ippo@fukakimi.net



いま、三鷹エリアの緊急課題はズバリこれだ!!

1 守るべき「子どもの安全」!

課題その1 事件発生後も、保護者に緊急対応メール発信無し

課題その2 治安向上のための条例の強化見直し

東町3丁目五日市街道沿道での発砲事件(2012年12月19日)、本町2丁目での強盗殺傷事件(2013年2月28日)の際に、公立・私立小中学校の通学路にもかかわらず、市から保護者への緊急連絡がありませんでした。緊急対応メールシステムを導入しているにもかかわらず、日頃からの想定と危機管理の欠如と言わざるを得ません。また、ヨドバシカメラ裏=旧近鉄裏では、「キャバクラ案内所」が出現しています。三鷹北口西久保住宅街でも「エステ」サロンが摘発されました。愛知県名古屋繁華街錦三を取り締まる「愛知県迷惑防止条例改正」では、客引き行為自体の禁止、「マッサージいかがですか」などの呼びかけ禁止など根本的な取り締まりを条例化しました。市民の命と財産を守るのは、自治体の責務です。



2 「マンション再生支援」は、武蔵野の「要」!

70% = 集合住宅居住世帯 (約49,000世帯)
市内総世帯数7万世帯

課題その1 新耐震基準(昭和56年建築基準法改正)以前のマンションが多い

課題その2 「災害時のマンション生活継続計画(MLCP)」(マンションのBCP)策定(国交省マンション政策局推奨)

東海・東南海・南海の巨大地震で、首都圏では最大32万3千人の死者被害想定を公表(内閣府)。建物の耐震化と家具転倒防止を100%にすれば、被害想定は8割減! マンションは、エレベーター・給排水の停止、居住者の個人化・高齢化と災害時の課題は山積です。市は、今年度の「分譲マンション調査」で、「大規模修繕工事」「建替え」「耐震改修」等の実態把握に取り組むべきです。今後は、「武蔵野市開発公社」を活用し、窓口相談、啓発普及、管理会社・管理組合同士の情報交換、再生事例の提供、専門家アドバイザー派遣等制度化を提案します。千代田区はもうやっています。

3 未利用地4000㎡の利活用こそ、三鷹北口エリアの「要」

課題その1 マンション開発による自転車人口の増加

課題その2 バブル期91億円での取得の4000㎡

今後、中町、西久保マンション開発に伴い、さらに自転車人口増加が予想されます。一方で、バブル期に91億円で購入した4000㎡の土地は、平成22年に利活用検討委託をコンサルに依頼しながら、いまだ平置き駐輪場のままです。駅前の一等地の利便性を加味し、市民ニーズに対応できる公共施設の再配置を図るべきです。

すでに50億円もの評価損を出しています。



なんと!
市民ひとりあたり
35,688円
の損失です!

コラム

市道240号線整備に伴い、舗道がきれいになりましたが、市は舗道に車が乗り入れられることの懸念から、新たに「南京錠付き車止め」を設置し、鍵は「市で管理」していました。写真奥の既存の車止めは、自治会様で管理されておられるとのこと。ディサービスご利用の方々や車いすの方にとって、少しでも玄関にお近いところまで車を寄せたいというお声を多数いただきました。現在、市と自治会様とで協議をいただいておりますが、そもそも舗道に車を乗りあげて違法駐車をする交通マナーが問題です。



実現
します

経歴紹介

1959年7月16日生まれ。血液型 A型。
港区立青山中学校→都立日比谷高等学校→東京女子大学社会学科卒→LVMH(ルイ・ヴィトン&モエ・ヘネシー)で財務担当。子育ての為退社後、子育てサークル活動。東京女子大学大学院博士後期課程に在籍。『高度情報化・分権社会における市民活動と自治』を執筆中。武蔵野市長期計画調整計画市民会議委員、吉祥寺村立雑学大学山下タミ先生主催「さんか塾」コーディネーター。夫(熊本産)・娘(広尾産)と吉祥寺在住。市議2期目。
趣味: 書道、観劇、舞踏、音楽(クラシック~ジャズ増尾好秋)
特技: 弓道2段(最近の的は不正)〈不作為〉〈不公平〉
好きな言葉: 一期一会

武蔵野市議会議員
深田 貴美子

生活の習慣を少しずつ意識して変えて行く——
ごみを分け、マイバッグも持参して、
小まめに電気を消すこと——
雨水は庭に浸透させ、
四季折々の自然を大切に、
犬や猫や鳥たちとも共生すること——
環境が人を護り、
人が環境を守るまことにしていきたいこと——
自然エネルギーを推進するのも、
ベースは、身近にある
小さいことの積み重ねです。
意識を持って、
みんなで持続的に取り組めば、
きっと世の中少ずつ
変わっていきます。
私たちが生活している、
この「地域」と「人」こそが、
「かけがえのない存在」です。
もっと一人ひとりが大切に、
大切にされ、
お互いに元気を生み出す
まことにしたい——
地方の政治こそ、
民主主義の原点であり、
私たち自身の手でつくりだし、
また変えていかなければなりません。
市政は、私たちの生活を支える
最前線であり、
そして「最後の砦」です!——
私、深田貴美子は、
市民生活に「寄り添って」、
「共感」できる市政を
みなさんと共に創りだしてまいります。
どうか一緒に!